

# 視 察 園 相馬地区わい化研究会 管内園地（3カ所）

約20年ぶりに相馬で開催

主 催

公益財団法人 青森県りんご協会  
青森県りんごわい化栽培技術研究会



県内各地から約180名が参加

8月3日、県内外でわい化栽培を行う生産者が集まり、当JA管内のリンゴ園地で「平成30年度わい化優良園地視察会」が開催された。弘前市立中央公民館「長慶閣」

で行われた開会セレモニーでは、藤田光男青森県りんごわい化栽培技術研究会会長が、「視察会を通して、ただ見るだけでなく、何が良くて何が足りないのかなど自分なりに考察して今後活かしてほしい。」とあいさつした。

優良園地視察では、相馬地区わい化研究会の三浦均 会長をはじめとする3名のわい化園で行われ、約180名の参加者が技術の研鑽と生産意欲向上を図った。また、視察後に「30玉台中心の大王生産に向けたわい化栽培について」をテーマに検討会も行われ、数多くの質問が飛び交った。

園地視察終了後、技術検討会では多くの意見が飛び交った





### 園地の見どころ

今年でふじ・名月の樹齢7年生となる細型紡錘形のわい化樹。有望黄色品種「名月」の特徴や栽培ポイントについて。



ふじ・名月M26台（丸葉付き）の7年生

### 視察園地概要

面積：70㍍<sup>2</sup>  
 剪定の特徴：詰め  
 植栽年：平成24年に植栽  
 樹齢：7年生  
 台木：M26台（丸葉付き）  
 品種：ふじ、名月  
 台木全長：40㍍（地上20㍍）  
 植栽距離：4.5×2.5㍍  
 10㍍当り本数：89本  
 10㍍当り収量：2トﾝ  
 樹形・樹高：細型紡錘形・約3.5㍍

### 園主 三浦 均 氏

住所：弘前市坂市  
 りんご栽培面積：380㍍<sup>2</sup>  
 （うちわい化栽培200㍍<sup>2</sup>）  
 品種構成：ふじ35%、名月15%、つがる15%、早生ふじ15%、その他20%



### 園主 溝江 尚樹 氏

住所：弘前市湯口  
 りんご栽培面積：540㍍<sup>2</sup>  
 （うちわい化栽培150㍍<sup>2</sup>）  
 品種構成：ふじ50%、トキ10%、きおう・つがる10%、早生ふじ（昂林）10%、シナノG・王林10%、その他10%



### 視察園地概要

面積：60㍍<sup>2</sup>  
 剪定の特徴：詰め  
 植栽年：平成21年に植栽  
 樹齢：10年生  
 台木：ふじM9-T337（自根）  
 トキM26台（自根）  
 品種：ふじ、トキ  
 台木全長：40㍍（地上20㍍）  
 植栽距離：4.5×2.3㍍  
 10㍍当り本数：97本  
 10㍍当り収量：ふじ5トﾝ、トキ3トﾝ  
 樹形・樹高：細型紡錘形・約4.5㍍

### 園地の見どころ

「M26台（自根）」と「M9-T337台（自根）」の台木特性（樹勢や良品果率等）について。各台木の栽培面での長所・短所。



トキM26台・ふじM9-T337の10年生

### 園地の見どころ

わい性台を用いた低樹高の開心形。



わい性台を用いた低樹高の開心形

### 視察園地概要

面積：50㍍<sup>2</sup>  
 剪定の特徴：流し  
 植栽年：平成21年に植栽  
 樹齢：10年生  
 台木：M26台（丸葉付き）  
 品種：早生ふじ（昂林）、シナノスイート  
 台木全長：40㍍（地上20㍍）  
 植栽距離：6.0×2.5㍍  
 10㍍当り本数：67本  
 10㍍当り収量：4トﾝ  
 樹形・樹高：低樹高開心形・約3.0㍍

### 園主 清野 一基 氏

住所：弘前市紙漉沢  
 りんご栽培面積：600㍍<sup>2</sup>  
 （うちわい化栽培250㍍<sup>2</sup>）  
 品種構成：ふじ30%、早生ふじ30%、シナノスイート10%、その他30%

